

成人看護援助論

単位数（時間数）：1 単位（15 時間） 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講時期：前期

科目責任者（職位・氏名）：准教授・石井真紀子

科目担当者（職位・氏名）：

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢
看護の基礎的・専門的知識・技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：62

■ 授業概要

成人期にある対象の多様化・複雑化する生活課題と健康問題に対処していく看護に必要な知識・技術・態度を教授する。さらに対象の健康問題の成り立ちと成り行きを理解するために、主に生活習慣に関連する疾病の発生要因と行動変容を導く看護について教授する。そして、これらの知識をもとに健康問題の悪化および予防のための看護を自ら考えられるよう基礎的能力を養う。

■ 到達目標

1. 成人への看護に有用な概念にはどのようなものがあるか説明できる。
2. 成人期の生活習慣と健康障害の関連が説明できる。
3. 成人が健康障害に関連して生活習慣を維持・変容する際の葛藤を説明できる。
4. 生活習慣病の可能性を考慮した看護方法を説明できる。

■ 教育内容

成人看護学、個人・家族・集団・組織の支援

■ キーワード

成人期、ストレス、危機、セルフケア、適応、病みの軌跡、自己効力、生活習慣、行動変容

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	授業ガイダンス ストレス （テキスト 25 巻 255-268 頁）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本科目の授業概要、到達目標、進め方、評価について <p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ストレスとは ・ ストレス・コーピングプロセスに関連する主要な概念 ・ ストレスマネジメント ・ 事例で考えるストレスマネジメント 	石井
2	危機 （テキスト 25 巻 269-278 頁）	<p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 危機とは ・ 危機の特徴 ・ 危機介入 ・ 事例で考えるフィンクのモデルを活用した危機介入 	石井
3	セルフケア （テキスト 25 巻 243-254 頁）	<p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ セルフケアとは ・ セルフケア不足理論(オレムの看護理論) ・ セルフケアと成人看護 ・ 事例で考えるオレムの看護理論 	石井
4	適応 （テキスト 25 巻 279-292 頁）	<p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適応とは ・ ロイ適応看護モデルの概要と成人看護 ・ 事例で考えるロイ適応看護モデル 	石井
5	病みの軌跡 （テキスト 25 巻 227-241 頁） 【関連動画】 「事例で考える病みの軌跡 228」	<p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病みの軌跡とは ・ 病みの軌跡という考え方 ・ 病みの軌跡の看護への適用 ・ 事例で考える病みの軌跡 	石井

6	自己効力 (テキスト 25 巻 293-302 頁)	【講義】 ・ 自己効力とは ・ 事例で考える自己効力理論	石井
7	生活習慣に関連する健康障害 (テキスト 25 巻 151-164 頁)	【講義・グループワーク】 ・ 生活習慣に関連する健康課題 ・ 生活習慣の是正	石井
8	授業のまとめ	・ 事例検討：危険因子の気づきと行動変容を導く看護	石井

■ 履修条件

関連科目（疾病治療論Ⅰ・Ⅱ）を履修していること。

■ 成績評価方法

定期試験：100%

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

- ・希望者に対して、試験日以降 2 週間以内に試験のフィードバックを行う。
希望者は、試験、事前にアポイントをとったうえで、科目責任者の研究室を訪ねること。

■ 教科書

- ・『デジタル ナーシング・グラフィカ』メディカ出版
 - 25 巻 成人看護学 ① 成人看護学概論
 - 26 巻 成人看護学 ② 健康危機状況／セルフケアの再獲得
 - 27 巻 成人看護学 ③ セルフマネジメント

■ 参考書・参考資料等

その都度提示する。

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

- ・授業前：テキストの該当頁を熟読し理解できない箇所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する（45分）。
- ・授業後：テキスト、講義資料、参考文献などを用いて、学習した内容を整理し理解を深める（45分）。

■ 担当教員からのメッセージ

成人看護学概論で学んだ成人期の特徴と、この授業で修得する成人への看護に有用な概念、さらには疾病治療論で学んで知識を統合して、成人期にある人への看護を考えます。

1 年次の学習の復習が重要となります。既習の科目の授業資料などを活用して理解を深めてほしいです。授業では、疾病論Ⅰの資料も参考になります。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

研究室 6 : ishii★iwate-uhms.ac.jp、オフィスアワーは特に設けませんので、事前に日時のアポイントメントをとってください。

(※メールの際は★を@にしてください)

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の実務経験

看護師

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

■ 実務経験を活かした教育内容

臨床での看護師の経験を専門的な知識をもとに意味づけし、学生の理解が深められるように実践的な講義を目指し実施しています。